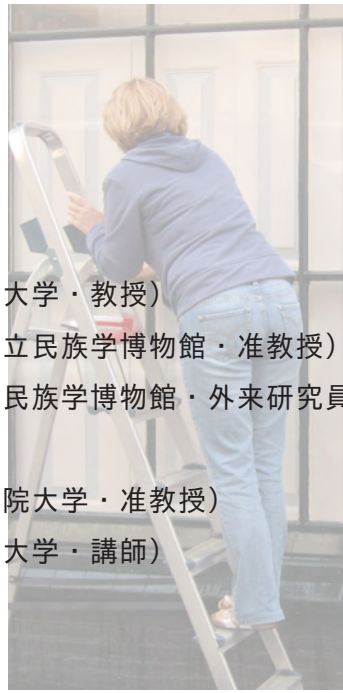


2016年3月に上梓した『仕事の人類学—労働中心主義を超えて』（中谷文美・宇田川妙子編、世界思想社）は、働くことをめぐって経済学、社会学、歴史学、哲学などの諸分野で蓄積されてきた成果を念頭に置きつつも、人類学ならではのアプローチの可能性を提示する試みである。「労働／労働でないもの＝余暇」という近代的労働観に基づいた問題設定から零れ落ちる諸活動にも目配りし、性別分業を含む分業のあり方の多様性と変化に注目した共同研究の成果として編んだ。

本シンポジウムは、上記論文集の内容を踏まえつつ、さらに異なる角度から「仕事」に光をあてた3つの報告から構成される。多様な「仕事」とその担い手を人類学的な視点から読み解くことで、「働くこと」、「仕事」とは何かをさらに深く考えてみたい。

プログラム

- 趣旨説明 中谷文美（岡山大学・教授）
- 研究発表 宇田川妙子（国立民族学博物館・准教授）
金谷美和（国立民族学博物館・外来研究員）
中谷文美
- コメント 三田牧（神戸学院大学・准教授）
服部志帆（天理大学・講師）
- 総合討論・質疑応答



「仕事」への人類学的アプローチ： 家事、労働、手仕事から考える

2016年12月10日（土）13:00 時開演
（12:30 開場）、17:00 終了予定

【会場】 京都大学・人文科学研究所 4階大会議室



【備考】

- * 京都人類学研究会は京都を中心とする関西の人類学および関連分野に関心をもつ研究者・大学院生がその研究成果を報告する場です。
- * 事前の参加予約は必要ありません。どなたでも自由に参加いただけます。
- * 当日は資料代として200円いただきます。
- * 講演会後に懇親会を予定しております。
- * 各発表の要旨は京都人類学研究会 facebook をご覧ください。

<https://www.facebook.com/kyojinken>

【問合】 kyojinken2016@gmail.com（京都人類学研究会事務局）

京都人類学研究会 2016年度代表：平野（野元）美佐

代表補佐：田中雅一

